

# 地域の和イ輪イ通信 ～町会・自治会活動紹介～

問合せ 自治振興課

## 松原町子供地車 ～松原町会～

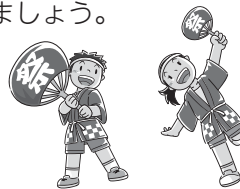
平成17年に松原町会役員と子供会役員の有志メンバーにて子供地車を自主制作し、曳行を開始してから今年で13年目を迎えました。この間、大過なく運営できたのもみなさんのご理解とご協力の賜ものと改めて感謝申し上げます。

子供地車は、子ども達の健全育成と地域交流を目的とし、地域のコミュニケーションを図るツールとして役割を担っております。現在では隣町の羽倉崎町と運営に関する協力体制を築き、小さなボディーですが2つの地車が地域交流の架け橋となり、言わば下町の伝統行事として賑わいを創出しております。

この度、第22回「ザ・まつり in Izumisano」に3回目の参加をさせていただきますが、「ザ・まつり」の主旨と子供地車の目的を鑑み、松原町の子ども達だけに留まらず、他地域の子ども達も曳き手となって、楽しいひと時を一緒に過ごしたいと考えております。

みなさん！ぜひ、私達と一緒に子供地車を曳きましょう。

**連絡先** 松原町子供地車運営委員会  
会長：麻生川敏行  
(事務局：高橋尊教 ☎080-5702-4365)



## 国際交流員オギー通信

Сайн байна уу  
サインパイノー!  
(モンゴル語で「こんにちは」)

## ウランバートル国際マラソン大会

問合せ 自治振興課

泉佐野市は、モンゴル国トゥブ県との友好交流関係を基盤に、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて実施されている「ホストタウン事業」に登録されたことにより、モンゴル国のナショナルマラソンチームの事前合宿地となりました。

モンゴル国の冬季気温は昼間でも-20℃以下に下がり、マラソン選手が練習できる環境が整ってないため、選手たちが冬場に練習できるよう、モンゴル国陸上競技協会より事前合宿受け入れの依頼を受けました。そして今年の1月末～2月末までの約1ヵ月間、モンゴル国のマラソン選手団が泉佐野市で合宿しました。その間に開催された「第25回 KIX泉州国際マラソン大会」にモンゴル国の選手団が参加し、男女共に1位に輝きました。泉佐野市はこのホストタウン事業を機に、モンゴル国で最大のマラソン大会となる「ウランバートル国際マラソン大会」にモンゴル国陸上競技協会から招待されました。今年の大会は5月19日に開催され、合計約3万人（その内、ケニア、アメリカ、日本など30カ国約300人の外国人ランナー

▶泉佐野市の代表ランナー



が参加しました。泉佐野市からは女子ランナー1人が参加し、無事完走できました。

泉佐野市のランナーは、大会の参加だけではなく、モンゴル国の一般家庭訪問や、ホストタウン事業で来日した選手団との交流なども含めて、良い思い出がたくさんできて嬉しい気持ちで帰ってくる事ができたと思います。

▶国際交流員のオギー



### 今月のモンゴル語

баярлалаа (バイルラー)：ありがとう

баяртай (バイルタイ)：さようなら

дахин уулзъя (ダヒン・ウールジャ)：また会いましょう



▶ウランバートル国際マラソン大会のようす



▶KIX泉州国際マラソン大会の男女1位と共に